



2013年2月よりこのクラブにお誘い頂き、7年という月日を経て、この度、会長という大役を仰せつかり、その重責に身の引き締まる思いで一杯です。

「第14期」という大切な一年を任せて頂くこと光栄に思い、なお一層の発展に向かって、メンバーの皆様方のご協力を仰ぎながら、少しでも社会のお役にたてるよう誠心誠意、魅力あるクラブの運営に努める所存でございます。

新型コロナウイルスによる今まで経験したことのない環境下で、時代が移り変わる中、世界中の女性と子供たちの幸せのために、地域社会、国際社会に向けどのような活動、奉仕ができるか私達の課題はたくさんあります。

私達のクラブの数ある奉仕の中で、小児がんたたかう子どもたちやその家族を応援するチャイルドケモハウスへの支援があります。

7年前に入会し初めて訪問させて頂きました。子どもたちの小児がんたたかいいながらもご家族と一緒に映った笑顔の写真拝見し、涙がとまらなかった事思い出します。

たくさん子どもたち、ご家族の笑顔がいつまでも続くよう努めたく存じます。

このような不安定な時代だからこそ、力を合わせ心寄せ合いながら、平和を推進するためにZONTAの精神「誠実と信頼」を基とし進んで参りましょう!

会長としての2年間、皆様に感謝

第12期・13期会長 駒田かすみ

2018年の6月、これまでずっとチャーターメンバーが務めてこられた会長職を『これからは次の世代に引き継いでもらわないと!!』とのことで受け継いで最初の大きな行事が横浜世界大会でした。と、同時に横浜世界大会で、姫路ゾンタクラブは26地区で唯一、Share Your Story での活動報告を行うこととなり、会長職と発表の二つの責任の大きさに少々ビビリながらのスタートでした。

予定していた行事等の日時に公務が入って、会長抜きでの行事をお願いせざるを得ないこともありましたが、姫路ゾンタクラブのゾンシヤンの皆様は、非常に頼もしく、私自身が参加できない場合でも、しっかりと支えて頂き、様々な奉仕活動を行うことができ、ありがたい限りだけでなく、エリアディレクターには何度もご連絡頂くなどのお手数をおかけしてしまったこともあり、まだまだ修行が足りない反省も多い2年間でした。

また、13期の3月以降は新型コロナウイルス感染症による自粛要請や緊急事態宣言の発令で予定していたローズデー・チャリティーバザーや、国際交流スプリングフェスティバルでの奉仕活動等のイベントのみならず、理事会・例会と言った通常の活動も行うことができない中、LineやZoomといった新たな形での会合の実施にチャレンジする機会も頂きました。初めての取り組みにもかかわらず、『じゃあやってみましょう!』と皆さん快く参加してくださり、姫路ゾンタクラブの底力を実感できました。

こうして、無事に2年間の任期を終了することができたのも、お支え頂いた地区の皆様、エリアの皆様何よりも一番近くでご協力くださった姫路ゾンタクラブの皆様のおかげと、感謝を申し上げます。



メモリアル・サービス

川口 照子 様 (1928/8/11～2019/12/12/24)

おいくつになってもパワフルで、例会でお目にかかる度に、『川口先生のような年齢の重ね方をしたい』『川口先生のように自然体で奉仕活動ができるようにならないと』と会員の素晴らしいお手本として活躍頂きました。

ちょうど誕生日が全く同じ日だったため、数年前の例会でのお誕生日のお祝いの際に、『私のちょうど半分やね』と笑いながら教えて頂きました。

数年前からは8月の例会で、貴重な戦争中のお話を伺う機会も頂き、人生経験のこと、子育てのこと、奉仕活動のこと・・・本当に様々なことを教えて頂きありがとうございました。

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。



第12・13期会長 駒田かすみ



12期・13期を終えて

理事・副会長 海老原あかね



駒田会長のもと、12期・13期を無事に終えることが出来ました。

駒田会長から、一挙にIT化が進んだように思います。特に今回の新型コロナウイルスの蔓延により例会もままならない中、Zoom会議、Line会議を

リードされクラブの運営を停滞することなく、次期に繋げることが出来たのも、大きな功績です。会長を補佐し支える立場ではありましたが、リードして頂くばかりでした。これからも、会長による「変化」を楽しみながら姫路ゾンタクラブと共に進化して参りたいと思っております。

アドボカシー・奉仕委員会

委員長 柴田 恵美子

ゾンタクラブへ入会させて頂いたのは、2015年はや5年。

初めは呑気なもので、皆様が活動される様子を感じながら、遠巻きに見せて頂くだけでした。

今まで自分の周りにはなかった世界、一人一人がしっかりとした考えを話される事、それは責任を果たすという行動力を見せつけられた様に感じました。違う世界に迷い込んだように感じながら、自分が奉仕事業に参加できることは、参加しようという意識しかない中で、前期、今期、奉仕委員長に任命され仕事の手順、内容さえ理解できなくて、迷いながら。でも果たしたいと思っはいるものの、未だ先輩の皆様のご指導がなくては何も出来ません。先輩の皆様、まだまだ行きとどかない奉仕委員長に、ご指導をよろしくお願い申し上げます。



会計として



会計 本多孝子

12期・13期の会計を務めさせていただきました。

わがクラブには海老原会員が考案作成した、元帳を月次報告に仕上げるテンプレートがあります。優れものです。しかし、最初、私はこれを使いこなす自信がありませんでした。

でも嬉しいことに、前会計の駒田会員が丁寧に指導、その上に取扱説明書も作って下さいました。私は毎回それを参考にしながら月次会計報告を作成いたしました。

今では、何とか私でも使えるようになりました。＼(^o^)/

ひとつ不安材料は、国際会費についてです。今回は駒田会長が処理して事なきを得ましたが、外国への振り込みや英語での意思疎通が難問題です。(Help me!)

2年間 会員の皆様からたくさんのご協力をいただきました。有難うございました。引き続き、次期も会計をいたします。どうぞ、よろしくお願いいたします。

広報・国際委員会

委員長 福岡加奈



広報・国際委員会では、毎月の例会の報告を中心にチラシやSNSなどの媒体を使い広報活動を行なってきました。

ゾンタクラブに興味を持っていただき、魅力的な広報になるようにSNSなどの発信をしながら、写真の撮影技術力をあげたり、文章力の向上をしたりすることができ、とても良い経験になりました。

この経験を今後も活かしていきたいと思っております。

大岡 由弥子(13期)



2019年12月入会

大西 雅子(13期)



2020年1月入会

《 新聞掲載記事 》

第12・13期の行事の中でも、26地区全体で「国際女性デー」の周知に関して呼びかけられ兵庫県内の4クラブで知事に申し入れを行ったことと、NHKの『みんなで筋肉体操』の谷本道哉先生によるローズデーランチセミナーは写真付きで取り上げられました。

これからも、積極的な広報に取り組んで参ります。



2019年2月19日 神戸新聞

「筋肉は裏切らない」近大准教授谷本さん 高齢者にも筋トレ必要

姫路の講演に主婦ら150人



生涯現役で活躍する方法を学ぶセミナーが12日、姫路市南駅前町のホテル日航姫路であった。NHK番組「みんなで筋肉体操」に出演し、「筋肉は裏切らない」の決めゼリで知られる近畿大学生物理工学部准教授の谷本道哉さん(46)が講演。主婦ら約150人が耳を傾けた。女性の地位向上や子育てを支援する「国際ゾンタ 姫路ゾンタクラブ」主催。谷本さんは、加齢とともに筋肉量が減少し身体機能が低下する「サルコペニア」を紹介。特に60代以降、太ももの筋肉が急激に減少するため、「老いは足元からやってくる」と強調した。

「筋肉は裏切らない」近大准教授谷本さん 高齢者にも筋トレ必要

2019年3月13日 神戸新聞

Advertisement for 'Koban' (青A堂) with contact information for various branches.

# 横浜世界大会の思い出

# 12期の例会・行事



26地区役員の皆様が勢揃い



お抹茶も頂きました



10月には毎年恒例のチャイルド・ケモ・ハウスチャリティーゴルフコンペ



12期のスタートにあわせて集合写真



折角なので観覧車も



11月18日には姫路ゾンタクラブ始まって以来のダブルヘッダー!



老いも若きもみんなきん祭でのボランティア



Voting Machine



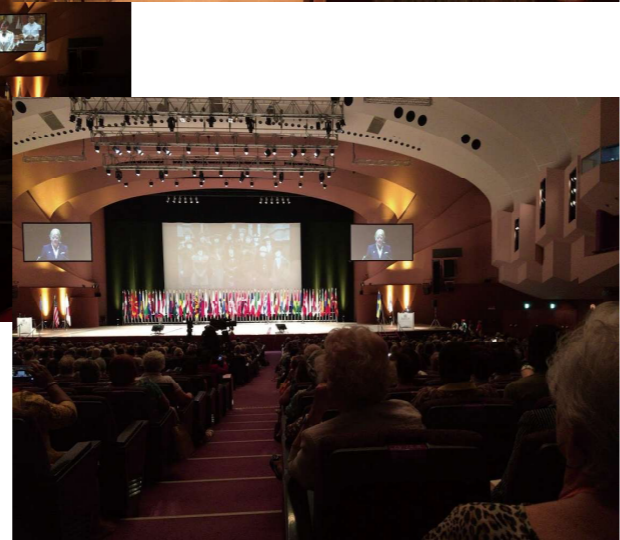
新年例会は護国神社で



あいめっせフェスティバルではHUG(避難所運営ゲーム)の実演も



山崎直子さんの講演会 姫路でもお世話になりました



ローズデーランチセミナー 話題の谷本道哉先生と



国際交流スプリングフェスティバルでは毎年好評を頂いているお抹茶と折り紙体験



エリアのアドボカシー研修も参加

2018/07/01 10:10

# 13期の 例会・行事

# ようこそ Susanne国際会長!

2018-2020 地区奉仕委員長 三輪光代

横浜での国際大会後20名のドイツのゾンシャンを迎えて姫路城を案内することになっていましたが、生憎西日本集中豪雨で新幹線が新大阪止まりということで当日中止になりました。クラブあげておもてなしの準備万端でお待ちしていたので本当に残念でした。が、今度は北九州での地区大会後Susanne国際会長の強いご要望で姫路城を案内することになりました。雲の上の存在のような国際会長をとクラブメンバー達と不安な思いでお待ちしていました。

白いシャツに白いパンツ姿で現れた国際会長は“Please call me Susanne”と、フランクに言って下さって大いに緊張が緩みました。東京IIゾンタクラブの山崎利恵様のお嬢様が通訳してくださって本当に助かりました。姫路城では西の丸、天守閣と丁寧に見てお気に入りのスポットでは写真を撮られ世界遺産の歴史ある建造物に興味をお持ちとお見受けいたしました。(ある調査によれば、姫路城はドイツのノイシュヴァインシュタイン城について訪れたいお城のNo.2)

お城の見えるレストランでランチ、その際に「国際ゾンタに対する皆さんの要望を聞かせてください。」と仰ってくださいました。私達なりに少しは大きな要望もあったのですが、十分なりサーチが出来てなかったのが具体的と言えなかったのが残念です。「国際は力になります。」と、力強く仰ってくださいました。掘めぐりの和船、好古園でのお抹茶を共に楽しみました。

関西空港までお供したのですが、はるかの車中ではお疲れでしょうからお休みくださいと言いましたら「あなたとお話がしたい。」と、嬉しい事を言ってくださって楽しくいろいろお話しして私にとって又とない嬉しいひと時でした。ご主人との共通のモットーは何事もpositiveに考える事と伺いました。

シカゴでの100周年国際大会では檀上の凜としたSusanne国際会長に会場から大きな拍手をおくりたいと思っていたのに本当に残念です。Susanne国際会長と親しく時を共に出来たのもドイツのゾンシャン野崎陽子様のお計らいです。このような素晴らしい機会を与えてくださった陽子様へ心より感謝しています。



毎年恒例となった  
チャイルド・ケモ・ハウス  
チャリティーゴルフコンペには  
50名以上の参加



YMCAアフタースクールで  
子ども達にお抹茶奉仕



コロナに負けない!  
SNSでチャイケモウォーク



地区大会に参加!  
新幹線がストップして1泊延長



例会にてフェミニストカウンセリング  
神戸のミニ講演会。終了後には  
デートDV啓発パンフレットの配布



ゴールデンZの奉仕活動見学



チャリティーバザーに向けて  
レジンクラフトにも挑戦



あいまっせフェスティバルでは  
パブリカで男女共同参画をPR



新年例会は1年の無事を願って参拝